

《仮称》予科練 平和記念館だより



町教育委員会生涯学習課 ☎888-1111(327)

日ごと深まる秋を感じる季節になりました。今月号は、9月に行われた戦争体験者の証言映像記録撮影についてお伝えします。

☆ ☆ 今回の撮影は、平成21年度開館予定の『《仮称》予科練平和記念館』で映像資料として活用すること、戦時下を生き延びた人の証言を後世に残すために行われました。協力していただいたのは16人で、現在70代から80代の町内外で活躍されている方々です。

元予科練生や予科練生の先生だった人、予科練生の適性を検査する仕事をされていた人、霞ヶ浦海軍航空隊（現在の茨城大学農学部）に在る



▲熟田さん（新町）。予科練生の思い出と新町の様子を詩情豊かに語っていただきました

った海軍の航空基地）の電話交換手として勤務されていた人——など、また、直接予科練や航空隊に関係していた人以外にも、ご自宅が予科練生のクラブ（休憩所）だった人、予科練生の指定食堂のご主人だった人、海軍の町として華やかになりし新町地区の移り変わりをご覧になった人、昭和20年6月10日、予科練教育が行われていた土浦海軍航空隊が標的となった大規模な空襲を経験された人——など、それぞれが激動の時代を懸命に生きてこられた方々です。

カメラの前で自らの体験を思い出しながら語る言葉のひとつと言ひと言に重みがあり、お話をうかがっていると、そ

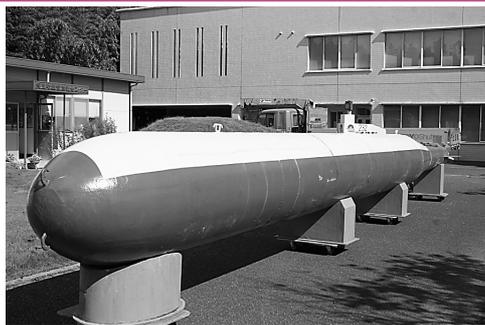


▲撮影の様子

の時代や当時の様子が目の前に鮮やかによみがえるような感覚に襲われました。ご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

☆ ☆ 10月5日から9日、笠松運動公園で、『第18回全国生涯学習フェスティバルまなびびあいばらき2006』が開催

されました。町では、『《仮称》予科練平和記念館』と郷土の文学者・下村千秋を紹介し、100人を超える人に来ていただきました。



▲寄贈された回天外観

《仮称》予科練平和記念館だより
『僕たちの戦争』で使用したセットが寄贈されました

特攻兵器、人間魚雷「回天」です。全長約13・4メートルの木製ですが、あたかも鋼鉄で作られたかのように表面に塗装と溶接のあとが細かく再現されています。また、コックピットのみを再現したセットでは、カメラには映らない部分もリアルに作られていて、大道具さんの技術の高さとこだわりを感じました。

1・5トンもの爆薬を積んだ狭い魚雷の中で、死に向かって発進していった特攻隊員の方々は何を思ったのだろうと、改めて戦争の恐ろしさ、悲しさに思いをはせずにはいられません。

撮影スタッフの皆様へ厚く御礼申し上げます。

予科練生を主人公にしたドラマ「僕たちの戦争」（原作 荻原浩氏・9月17日TBSテレビで放送）で撮影に使用したセットが町に寄贈されました。現代からタイムスリップした主人公が乗ることになる